

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都千代田区二番町8番地8			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 代表取締役社長 永松 文彦			
事業概要	卸売業_小売業_飲料品小売業			
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	12,440.1	kl
	<input type="checkbox"/> 5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者			
計画期間	2022年度～ 2024年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●セブン&アイグループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」において、「脱炭素社会」を目指すべき社会の姿として掲げ、店舗運営に伴うCO₂排出量を2013年度対比で2030年までに▲50%、2050年度までに実質ゼロを目標に、省エネ、再生可能エネルギーの利用拡大を進めていく。 ●新店、改装店、既存店への省エネ設備の導入、加盟店における省エネの取組促進により、店舗の電気使用量及びCO₂排出量総量の削減に努め、年1%CO₂排出量の削減する。 			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	ISO14001に基づいた環境部会を運用し継続的な省エネ改善を図る			
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	本部と全国事務所及び直営店
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ重点6項目を纏めた動画を店舗へ配信し省エネ意識の浸透を図る ・新店への省エネ設備導入及び既存店における設備更新 (LED照明 /IHフライヤー /老朽化空調入替) ・太陽光発電設置 設置可能な店舗への太陽光発電設備の設置及び1店舗辺りの太陽光発電容量の増加 			
	温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2021)年度	前年度の実績 (2021)年度
		18,122 t-CO ₂	18,122 t-CO ₂	17,578 t-CO ₂
増減率 (B-A)/A		△3.0%		
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)
		原単位 当たり t-CO ₂	原単位 当たり t-CO ₂	原単位 当たり t-CO ₂
	原単位の考え方			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ①店舗への省エネ活動の啓蒙活動(省エネ重点6項目をまとめた省エネ動画の全店舗に配信) ②CSRレポート・ホームページ等での情報発信 ③石油由来のプラスチック使用量の削減に取り組むため、お客様に提供するレジ袋はバイオマス素材30%配合環境配慮型のみを推奨 ④R448A冷媒を使用した冷蔵設備の更新 69店実施 従来の冷蔵設備に比べ地球温暖化係数が小さいR448冷媒を使用した冷蔵設備へ更新を実施し地球温暖化温暖化対策に貢献する。 			

- 備考
- 1 のある欄には、該当する内に「レ印」を記入してください。
 - 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 - 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。